

サロマの風



今年オンラインでの開催となった「サロマ湖100kmウルトラマラソン」。2年連続現地開催されなかった寂しさからか、27日当日、サロマ湖周辺には沢山のランナー達が訪れ、皆さん思い思いのサロマ湖マラソンを楽しんでいました。

オンライン大会に参加された会員の皆様、大変お疲れ様でした。来年こそ、無事開催されることを祈っています。

気温が高くなってきたことでBBQシーズンが到来。この時期になると町中はBBQをする人たちであふれるのですが、新型コロナの影響からか、皆さん自粛モードのようです。

サロマのBBQといえばやはりホタテ！6月から水揚げが始まったホタテを炭火でガンガンに熱したところに、たっぷりのバターと醤油。これが美味しくないと訳がありません。この文章を書いている今も、つついよだれが出てきてしまっています（笑）

今後、会員の皆さんとBBQや町内ツアー等といった、交流会を行えればと思っています。お楽しみに。



We ♥ Saroma

発見！サロマの魅力！

地産地消第5弾！ サロマのホタテ【前編】

「佐呂間町の特産品といえば？」と聞かれると、多くの方は「ホタテ」を連想するのではないのでしょうか？

事実、「ホタテ」は佐呂間町の特産品として外すことのできない、自慢の一品です。

毎年、5月の下旬から行われる「ホタテ稚貝の放流」作業は、町の風物詩となり、この時期は、日の出前から港に船のエンジン音が鳴り響き、漁師さんをはじめ、町内外から多くの方々が作業の手伝いに訪れ、港は大いに活気づきます。

今では、「ホタテ」は多くの方々の舌を喜ばす比較的身近な食材として、認知されています。しかし、佐呂間町の基幹産業の一つとして発展するまでには、長い苦難の道を切り拓いた先人達の苦勞と努力を惜しまぬ挑戦の歴史があります。

←ホタテ養殖の記念石碑



→ホタテの稚貝放流



遡ること大正時代、当時の漁師の暮らしは貧しく、なんとか米や醤油が買えるというほどのものでした。この苦境な状況の下でも当時の漁師の方々は懸命に働き、時代は昭和を迎えます。

昭和4年。サロマ湖新湖口が開削され、外洋の海水が湖内に流入したことにより、湖内に大きな変貌をもたらしました。ニシンやサケ・マスなどが顔を見せ、それらが湖内のいたるところで獲れるようになり、サロマ湖の漁業が一変。そして昭和6年、「ホタテ貝の自然発生」が確認され、このことが、サロマ湖でのホタテ養殖事業のきっかけとなり、ここから先人たちの未来を切り拓くための挑戦が始まります。

先人たちは、長い年月をかけ、試行錯誤を繰り返し、昭和39年にそれまで個別に行ってきた試験を総合して、「採苗→養殖→販売」と一貫した試験を行い、仕上げの段階に入ります。そして、サロマ湖内での「ホタテ養殖」が可能であることを証明し、この結果を踏まえて、佐呂間漁協はいよいよ本格的に事業の推進を図ります。

昭和40年春、これまでの研究成果をまとめた「サロマ湖におけるホタテ貝増養殖事業」と題された報告書は、「サロマ方式」と呼ばれ、広く全道各漁協のホタテ養殖事業の基本書となりました。これが、本町がホタテ養殖発祥の地と呼ばれるゆえんでもあります。長年の苦勞の末、先人達は自然に依存した漁業から、人知を結集し、団結と挑戦をもって「獲る漁業から育てる漁業」へ転換させ、さらには「サロマ方式」を確立。そして、さらなる躍進を遂げ、今につながっています。（次号【後編】に続く。）

佐呂間ダイアリー

◆3月

26日 株式会社はまほろ
第32回全国そば優良生産表彰事業
農林水産大臣賞（最高位）受賞



◆4月

6日 町内小中学校入学式
新入学 若佐小5名 佐呂間小16名
浜佐呂間小3名 佐呂間中43名
8日 北海道佐呂間高等学校入学式 新入生26名
19日 サロマ湖展望台道路開通

◆5月

15日 オホーツク海へのホタテ稚貝放流作業初日

◆6月

中旬～7月上旬
アラスカ州パーマ市短期交換留学 **中止**
21日 キムアネップ岬キャンプ場オープン
27日 第36回サロマ湖100kmウルトラマラソン
オンライン開催

佐呂間町の世帯数と人口（令和3年6月30日時点）

世帯数 2,399世帯 人口 4,882人
佐呂間町サポーターズ倶楽部人口 3,121人
合計 8,003人
〔前号人口比較 41人増〕

町民の出生と死亡 **さろサポ新規登録**

R3. 4月 出生1人 死亡9人 **36人**
5月 出生2人 死亡7人 **34人**
6月 出生3人 死亡11人 **25人**

佐呂間町サポーターズ倶楽部事務局
(佐呂間町役場企画財政課内)



〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地1
Tel 01587-2-1214 Fax 01587-2-3368
Email sarosapo@town.saroma.hokkaido.jp
Twitter・Facebook・Instagram @sarosapoclub



← 駅長制帽、



← 乗車券、切符

現在、湧網線の佐呂間駅周辺跡地には、佐呂間町交通公園が整備されています。旧駅舎は鉄道記念館となっており、運行当時に使われていた制服や時刻表などといった備品が展示されています。佐呂間町に来られた際には、ぜひお立ち寄りください。

○佐呂間町交通公園

湧網線は、冬には車窓からオホーツクの流水が展開し、夏には青々としたサロマ湖と鮮やかな草花を楽しむことができました。もしこの時代に生まれていたら、一度乗ってみたいかなと思うばかりです。

○国鉄湧網線について
湧網線とは、上湧別町（現・湧別町）からサロマ湖やオホーツク海沿岸を通り、網走市にまで至る鉄道路線です。昭和11年に計呂地―中佐呂間（現・佐呂間市街）が開通して以降、廃止までの51年間、佐呂間町の発展に大きく貢献しました。
○最高の車窓

→ 当時の時刻表

列車種別	行先	発車時刻	備考
940	湧別	6:16	
921	網走	6:02	
922	湧別	7:33	
923	網走	8:27	
924	湧別	10:09	
925	網走	12:28	
926	湧別	15:57	
927	網走	17:01	
930	湧別	20:51	
929	網走	19:22	
932	湧別	22:30	
931	網走	22:27	



← 雪原を走るSL

さろまの歴史〜国鉄佐呂間駅〜

サロマ応援マイレージ

- サロマンブルー 0名
- ゴールド 1名
- シルバー 0名
- ブロンズ 0名

制度開始から3ヵ月ですでにゴールド会員が誕生！



「殻付きホタテ」当選者発表
01096 01127 01237
01481 01781 01932
011197 04006 12052
13288 13636 14010
22013 27020 27067
27111 27112 28003
29003 33005
※最初の0も会員番号に含まれます。